

国際医療福祉大学大学院 #10 前例を超えて創造する流儀

映画「ケアニン」で介護の世界に 新風を起こせたカギは?

2018年4月26日

映画プロデューサー 山国 秀幸

山国秀幸プロフィール

1967年1月生まれ。大阪府出身。

大学卒業後、リクルート、ゲーム会社を経て、

2004年(37歳)映画業界に転身。

2007年(40歳)株式会社ワンダーラボラトリーを設立、現在に至る。

映画プロデューサー

株式会社ワンダーラボラトリー: 代表取締役

一般社団法人 地域デザイン学会:参与













映画「ケアニン」:作品概要



● 出演 : 戸塚純貴、松本若菜、山崎一

小市慢太郎/水野久美 他

● 監督 : 鈴木浩介

● 脚本 : 藤村磨実也

● 主題歌 : 香川裕光「星降る夜に」

● テーマ : 介護福祉士、認知症

● 公開日 : 2017年6月17日

● 劇場 : 丸の内TOEIほか全国約30館



映画「ケアニン」: 完成後

劇場公開後、日本中から上映会の申し込みが殺到

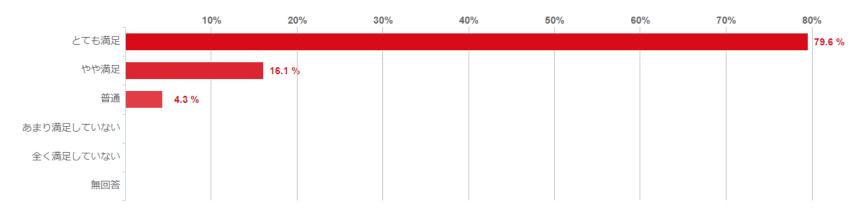


半年間で350ヶ所を突破

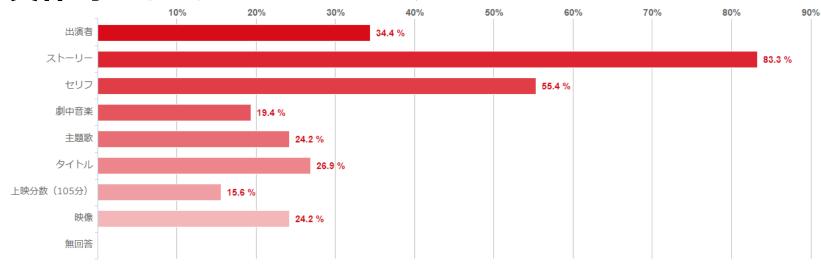
日本国内目標:3,000ヶ所

映画「ケアニン」: 来場者アンケート①

映画にどれくらい満足されましたか?

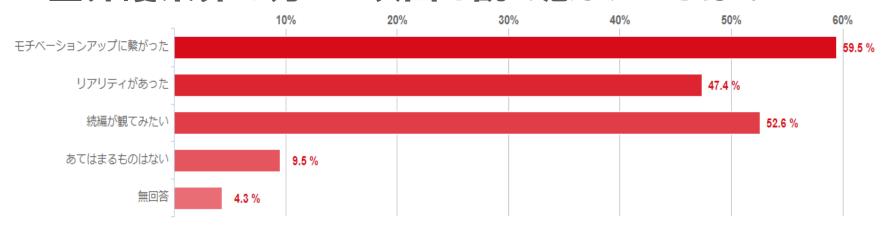


具体的にはどういったところですか?

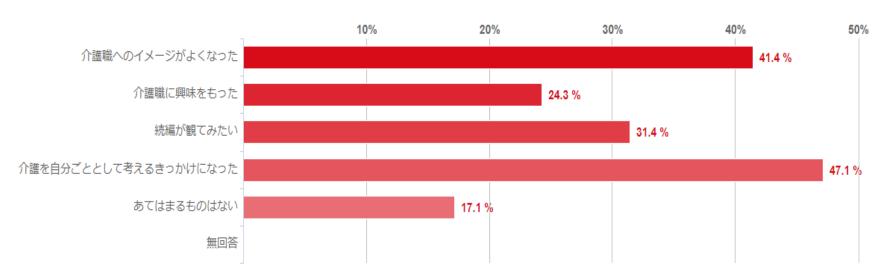


映画「ケアニン」: 来場者アンケート②

■介護業界の方へ 映画を観て感じたことは?

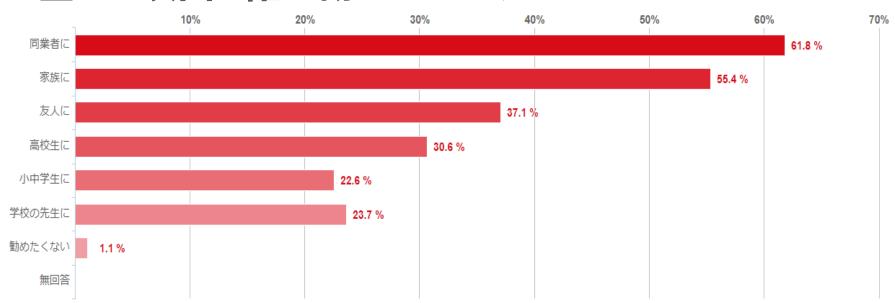


■介護業界以外の方へ 映画を観て感じたことは?

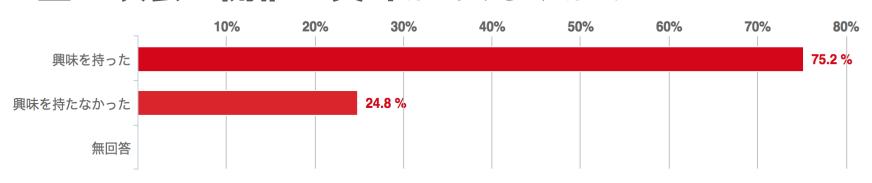


映画「ケアニン」: 来場者アンケート③

■この映画を誰に勧めたいですか?



■上映会の開催に興味がありますか?



映画「ケアニン」: 来場者コメント(学生・子ども)

なんとなくで通っている介護の学校の勉強や実習に対する モチベーションもすごく上がりました (介護専門学生・女性・10代)

> パティシエになりたい11歳の娘と、 女優になりたい9歳の娘の将来の夢の候補に、 ケアニンが入ったようです。

人前では絶対に泣かない、娘(6歳)が泣いていました。 こんな幼い子どもの魂にも伝わる「愛の映画」です。

映画「ケアニン」:海外展開

北京国際映画祭2018 4月15日~ 上海市・認知症ケアシンポジウム 4月10日 デュッセルドルフ日本映画週間2018(ドイツ) シルクロード国際映画祭2017(中国・福州)









オーストラリア、香港など からもオファーあり

テーマ:映画「ケアニン」で介護の世界に新風を起こせたカギは?

- 1. 映画プロデューサーって何する人?
 ~映画ビジネスのこと~
- 2. 上映会を主とした新たな映画プロデュース方式 =シネマソーシャル
- 3.「ケアニン」が介護業界に受け入れられた理由
- 4. 僕を突き動かしているもの

1. 映画プロデューサーって何する人? ~映画ビジネスのこと~

○○プロデューサーだらけ?

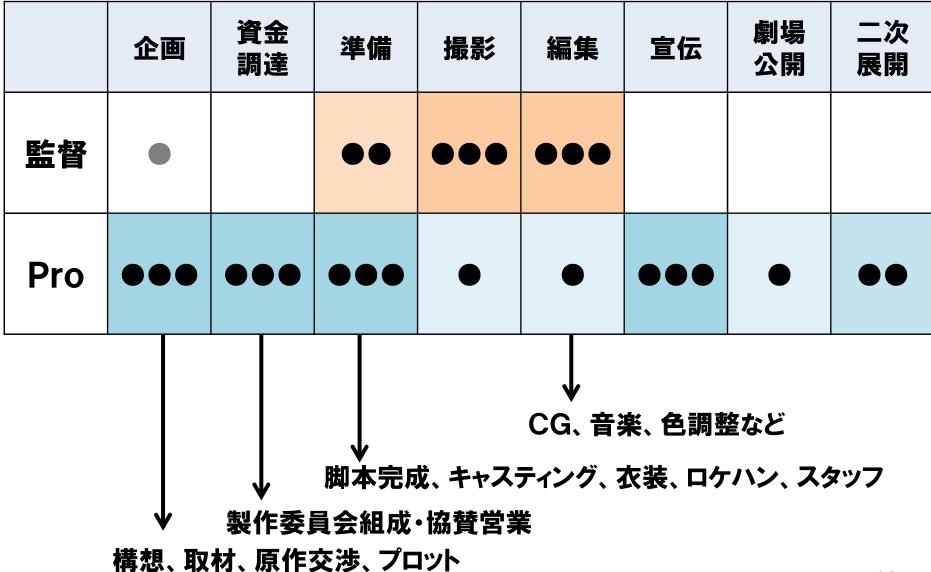
- ・エグゼクティブプロデューサー
- ・プロデューサー
- ・アソシエイトプロデューサー
- ・キャスティングプロデューサー
- 共同プロデューサー
- ・ラインプロデューサー
- ・CGプロデューサー
- 宣伝プロデューサー

作品全体の総責任者=映画プロデューサー

映画プロデューサーの仕事

- ・お金、スタッフ、出演者を集めること
- ・映画を完成させること
- ・映画を多くの人に観てもらうこと
- ・関わった人たちに還元すること
- ・上記に関わる全ての仕事。

監督と映画プロデューサーの違いは?



2つのタイプの映画プロデューサー

A: 監督アシストタイプ







監督

新海誠

プロデューサー 川口典孝

宮崎駿

鈴木敏夫

北野武

森昌行

監督がやりたいことを実現する為に動く

2つのタイプの映画プロデューサー

B: 自己実現タイプ

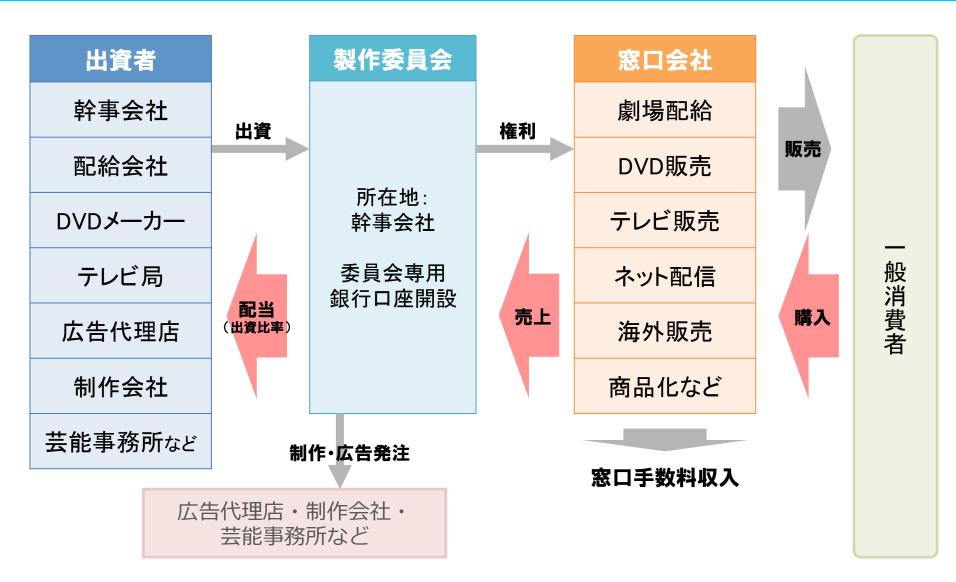
自分が理想とする映画を創るために、 監督、脚本家、キャスト、お金などを集める。



映画「ケアニン」の場合

- ・企画、タイトル
- ・ストーリー
- ・資金調達
- ・主要スタッフ、キャスト
- ·製作委員会
- ·広告宣伝
- ・上映会 など

映画のビジネススキーム



→出資者は出資リスクを回避

映画入場料の経費の内訳



収入 一 宣伝費、制作費など

邦画の市場規模

2017年全国映画概況(日本映画製作者連盟発表資料)

	邦画公開本数		興行収入	
全体	594本	100%	1,254億円	100%
10億円 以上	38本	6%	778億円	62%

毎週11本が新規公開(洋画を含めると22本)

多くの映画が赤字の現実

映画「君の名は」収入=100億円 ※興収250億円

現在の映画ビジネス

- ・一部の大手映画会社の寡占状態
- リスクが高いビジネス

「前例を超えて創造する」ことが必要

2. 上映会を主とした新たな映画プロデュース方式 =シネマソーシャル

シネマソーシャルのキッカケとなった作品

「ガレキとラジオ」

● エグゼクティブプロデューサー:山国秀幸

● 監督 :梅村太郎 塚原一成

● 公開 :2013年4月

● ジャンル :ドキュメンタリー映画

● ナレーション:役所広司

テーマ : 震災復興・防災

● 劇場公開規模: 25館

自主上映会の申込み

自主上映会?



上映会展開の成功ポイント①

■主催者が多く存在しているか?

- ・その映画の「上映会を開催したい」と強く思う 主催者がいるか?
- ・「この映画は自分たちの映画だ」と思ってもらえるか?

(例)

- ・映画「ふるさとがえり」:ふるさとの消防団→消防団、消防署
- ・映画「うまれる」: 妊娠出産→女性団体
- ・映画「人生、いろどり」:シニアの挑戦→老人クラブ、JA

上映会展開の成功ポイント②

■上映会に来るお客様がいるか?

- ・主催者がどんなに熱い想いを持っていても、 その映画(テーマ)に興味を持つ人が少ないと集客が厳しい。
- ・集客が厳しいと赤字になり、二度と開催しなくなる。
- (例)・映画「ガレキとラジオ」: 震災後1~2年間は復興支援NPOなどが多数実施。 現在では、震災風化の影響もあり、集客が困難に。
 - ・映画「うまれる」: 妊娠・出産がテーマ。 妊婦は毎年一定数存在。

上映会展開の成功ポイント: 結論

熱い主催者が数多くいるか?

上映会に来場する お客様がいるか?

映画上映+テーマに関連したゲストや映画出演者などによるトークショーなど

来場者の満足度が向上、 来場者自身が主催者となり拡大していく

市民上映会での広がりを前提とした テーマの選定

題材=社会的テーマ

ジャンル=エンタテインメント映画



→永続的に全国の隅々までテーマ・映画を届けていく (リスクの高い劇場公開に依存しない)

映画プロデュースコンセプト「シネマソーシャル」

市民上映会は、地域での議論や出会いや再会の場

市民上映会=地域デザイン 上映会主催者=地域プロデューサー

映画と市民上映会を通じて 「人が人を支える社会づくり」に貢献する。



3.「ケアニン」が介護業界に受け入れられた理由

情熱 × マーケティング

映画製作チームは、個のプロフェッショナルの集まり。 ゼロからの資金集め。トラブルやハプニングの連続で、 完成しない映画も。

- ・何があっても突き詰めたいテーマは何?
- ・30代後半で映画業界に転身した 自分に出来ることは何? =コンプレックス脱却

介護、認知症は 自分自身や家族を含めて 全ての人に関わるテーマ

自分自身が知りたい 取材や情報収集、出会った方々 から刺激を受けて、強い想いに。

介護職員の人材確保につなげる

- ■介護(職)に興味がない、ネガティブなイメージの人介護の仕事の魅力を知ってもらいたい。
- ■介護の仕事に就いている人 仕事への誇りを改めて感じてもらいたい。

→自分自身の経験(リクルート、採用担当)が 活かせるのでは? 小説や漫画の原作を探したが、目的に合った作品がなかった。

完全オリジナルストーリー

徹底的にリアリティを追求する

30ヶ所以上の介護福祉施設、福祉系専門学校・大学、 介護関連業界団体などを取材

→現場の介護職の想い、言葉、エピソード、 人物設定などをストーリーに取り入れた

複数の専門家や現場の方々が脚本監修、撮影現場での演技指導、実在施設(あおいけあ)の再現など

映画作りでこだわったこと①



世代や介護経験の有無に関わらず、感情移入できるように登場人物を設定

新人介護福祉士、ベテラン介護福祉士、経営者 女子高生、親を持つ中年夫婦など、それぞれの視点

当事者発信の当事者向けの映画にしない。

→主人公はあえて熱血介護職員にしなかった

看取りをしっかり描く

企画段階では、「看取り」=最悪な仕事と思い込んでいた。どう避けるか?を考えていた

→取材すると、「看取りをちゃんと描いて欲しい」 という現場の声が多かった

エンタテインメントであること

「介護」の映画は少なくないが、ほとんどが暗く、悲しいリアリティを描いている

明るく、前向きなリアリティを描くことで、人に薦めたくなる、何度も観たくなる。

映画のスタッフィング: 監督

監督 鈴木浩介



亡き母に捧げたい。

デイサービスを利用していた 母の笑顔の写真が忘れられない。→光彦「いい笑顔だなぁ」

映画のキャスティング: 出演者



役者の仕事がない時は、 介護の仕事をしています。

今、現実に、
母の介護をしています。

この映画は日本に必要だと思う

祖母の看取りに立ち会えなかったことをずっと後悔しているんです。

これは私の物語

「自分自身の物語」だと感じて出演

映画のスタッフィング: 主題歌





「星降る夜に」香川裕光

1986年:広島県廿日市市生まれ。

元、重症心身障害児·者福祉医療施設介護職員。

2016年:TBS『歌王2016』にてグランプリ授賞。

『ありがとう。』で全国デビュー。

僕にしか出来ない。 絶対、僕に作らせて欲しい。

今までに無かった「介護映画」

「こんな映画を待っていたんです」

「今までのニュースやドラマで描かれていた 介護に対して、違う!と思っていた」

「私たちの世界を映画にしてくれてありがとう」

前例を超えて創造した映画

4. 僕を突き動かしているもの

映画「ガレキとラジオ」炎上騒動

ドキュメンタリー映画「ガレキとラジオ」とは?

- ■東日本大震災 東北復興支援を目的に製作 =収益は南三陸町に寄附
- ■宮城県南三陸町の 災害ラジオ局が舞台の ドキュメンタリー映画
- ■役所広司(ナレーション)、 MONKY MAJIC(主題歌)、 監督などが無報酬で参画
- ■企画·制作 : 博報堂
- ■エグゼクティブプロデューサー 山国秀幸



「ガレキとラジオ」騒動経緯

2011年3月11日 東日本大震災

取材·撮影開始

2012年3月31日 撮影終了

2013年夏 映画公開

上映会が全国に拡大

※「ガレキとラジオ」を観る会

全国に上映会と復興支援の輪が広がった。

















「ガレキとラジオ」騒動経緯

2011年3月11日 東日本大震災

取材·撮影開始

2012年3月31日 撮影終了

2013年夏 映画公開

上映会が全国に拡大

※「ガレキとラジオ」を観る会

2014年3月5日 「やらせ報道」により炎上

「ガレキとラジオ」ラジオ聴くふり

の求めに応じて演技をして が、実際はラジオを聴いて 励まされる場面が描かれる 波で失った女性がラジオに とが分かった。娘と孫を津 に密着したドキュメンタリ 宮城県南三陸町のラジオ局 しまったことに罪悪感を抱 いなかった。女性は制作者 ー映画「ガレキとラジオ」 映画は大手広告会社の博 東日本大震災の被災地、 苦しんでいる。 「やらせ」があったこ るふりをしてください」と えたが、撮影班は「聴いて 普段聴いていないことを伝 うちに承諾したという。数 が、撮影班が何度か訪ねる 性は当初、出演を断った 性。梅村監督らに対し、 設住宅に暮らす70代の女 オを聴くよう求められた。 回目の撮影中、女性はラジ

局のスタッフと、放送で元 に開局した臨時災害ラジオ 気づけられる被災者らを描 ョンを担当した。震災直後 優の役所広司氏がナレーシ の梅村太郎氏が監督し、俳 同社社員 指示したという。 ている」「音がないと寂し 細かく指示。「いつも聴い 機会はなかったという。 た。撮影中にラジオを聴く の合唱のCDを聴かされ 影班が用意し、地元中学生 いなかった。ラジカセを撮 害ラジオ局の電波が届いて さらに撮影班はせりふを だが、この仮設周辺は災

報堂が企画制作。

う。 い」などと言わせたとい

いたっ

を強いられたのは同町の仮

映画は2013年春から

立するが、

関係者によると、やらせ

女 く。女性は映画が評判にな 秋まで全国25館で公開さ いるという。 ようになり、「映画を見た るにつれて罪悪感を覚える 上映会が50カ所以上で続 れ、その後も市民らの自主 人に申し訳ない」と話して 梅村監督は朝日新聞の取

もらう演出はした。ラジオ 放送として) CDで聴いて 材に、女性宅ではラジオの だことを認め、「(ラジオ 影班がラジカセを持ち込ん 電波が入らないことや、撮

> 思った」と説明した。 ループマネジャーは「監督 との接点がゼロではないと 博報堂の藤井慶太広報グ

る」と話した。 ラジオのリスナーと考えて は女性のことをあくまでも 撮影していたと認識してい (伊藤喜之、高津祐典)

朝日新聞も紹介

えたことで、自分自身も救 この映画を受け止めてもら 夕刊や地域面で紹介した。 して残したい」などと撮影 の中で梅村監督は「被災地 ジオ」と梅村監督について われた」と述べていた。 の動機を語り、「町の人に の記憶を『再生の記録』と 昨年1月8日付夕刊の記事 朝日新聞は「ガレキとラ

たと思う。 ーではない。 されることではない。ラジ チ」などとする必要があっ オに励まされる被災者を作 出の範囲を超えており、許 ってしまったのだろう。 「ドキュメンタリータッ 間違いなく演

「ガレキとラジオ」騒動経緯

2011年3月11日 東日本大震災

取材·撮影開始

2012年3月31日 撮影終了

2013年夏 映画公開

上映会が全国に拡大

※「ガレキとラジオ」を観る会

2014年3月5日 「やらせ報道」により炎上

3月7日 全国の主催者に上映中止願い

3月8日~ 上映会会場で直接謝罪

炎上で何が起こったか?

マスコミ新聞、スポーツ紙、週刊誌、テレビ

からの過激な取材要請

家族 次男が通う中学校・PTAへの謝罪

登校拒否になる次男

実家パニックになる両親、親戚

会社 上映会主催者から損害賠償

別事業の取引先からの取引見直し

→経営的危機

個人 Facebook、Twitter、ブログなどへの

誹謗中傷書き込み

「ガレキとラジオ」その後

当事者の女性が、「記事と事実が違う」と弁護士を通じて新聞社に抗議。

直接謝罪に行くと「この映画が好き」「上映会を再開してほしい」

被災地や全国の上映会主催者から上映再開を望む声が高まる。

2014年9月29日 上映再開

ガレキとラジオ」上映再開

"東北支援続けたい、と追加取材も

れた。新たに今春以降に撮 の上映会受け付けが再開さ 本大震災のドキュメンタリ 映が中止となっていた東日 った」などと報じられ、上 影した場面が加えられ、既 -映画「ガレキとラジオ」

オ局「FMみなさん」の活 に複数の申し込みが入って 三陸町に発足した災害ラジ 映画は震災後に宮城県南

従って演技したなどの事実

冉開を求める声明を発表し

んてあり得ない」と、上映

て撮影していた。やらせな

たちも「被災者に寄り添っ 関した FM局の 元スタッフ セージが届いたという。出 はなく、逆に励ましのメッ けた映画館もあった。中止

は変わらない」と上映を続

した団体から賠償請求など

のは録音だった。ただ、女 かない場所で、聴いていた 性が撮影スタッフの指示に いる場面。実際は電波が届 仮設住宅でラジオを聴いて のは、被災者の70代女性が 「やらせ」と指摘された

映画「ガレキとラジオ」

有の支えになっていた事実

報道後、「ラジオが被災

ていくことも決まった。 追加取材し、映画を更新し えていくべきだ」として、

一被災地や被災者

別の映像に差し替えられ た」(山国秀幸プロデュー はなく、電波が入る親戚の サー)として、 なく見ていただくため再編 を望んでいたが、 め、そのままの形での再開 ことを了承していた。 てこの場面を映画に入れる 家などでは放送を楽しんで 集すべきという結論に至っ おり、リスナーの一人とし 女性は上映中止に心を痛 該当場面は 「先入観

3月上旬に「やらせがあ

姿を記録した。

動を中心に、同町の人々の

まだ3年、 03.6277.1 至った」と話す。 て」と言われたという。 町民から「(大震災から) ていた。 国プロデューサーは「もう て現地を訪れた監督らは、 原点に戻ろうという結論に 一度、みんなで東北支援の 上映会の申し込みはな こうした声に後押しされ 映画で応援し

映画なんてもう二度と作りたくない。 もう二度と映画は作れないだろう。

南三陸町 佐藤町長からのメッセージ

頑張れ、自信を持て。





頑張れ、自信を持て。

地獄から這い上がった私が言ってるんだから。

上映会を開催された主催者、友人たちから

キャンセル料なんか要らない。 前向いて下さい。

応援しています。 また、必ず上映会をします。

次の作品を期待しているよ。

私はあなたを知っています。 何があっても味方だから。 もう一度、映画を作ってみたい。 もう一度、一歩踏み出してみよう。

映画「ケアニン」プロデュース

- ■自分のプロデューススタイルの確立 =自分の居場所、コンプレックス脱却への一歩前進
- ■取材や上映会を通じて出来た、様々な人とのご縁

人生に大きな影響を与えてくれた作品

おまけ. 次の作品展開について

「ケアニン」スピンオフ作品



最期の願いは、 この場所で、僕たちが支える。

● タイトル :ピア~まちをつなぐもの~

● テーマ: 在宅医療と介護 多職種連携、看取り

● 企画・原案ストーリー・プロデュース山国 秀幸

● 監督 : 綾部真弥

● 脚本 : 藤村磨実也

● 撮影 : 2018年秋(予定)

● 公開 : 2019年

ご清聴ありがとうございました。

映画「ケアニン」企画・原案・エグゼクティブプロデューサー

山国 秀幸